

—小平のまちづくりについてみんなで考えましょう—
まちづくりカフェ・ニュース Vol.3

平成 27 年 3 月



小平のまちづくりについて考える
まちづくりカフェ第3回を開催しました！



第3回まちづくりカフェを2月28日に開催いたしました。今年度のまちづくりカフェとしては最終回でしたが、多くの市民の方にご参加いただき、最後まで和やかな雰囲気の中、活発な意見交換がされました。

今回は、前回までの議論をふまえて「市民としてまちづくりに関われることって何だろう？」という切り口で意見交換を行いました。その様子について、ご報告いたします。

【開催概要】

- ◆ 日 時：平成27年2月28日（土）
9時半～12時
- ◆ 場 所：小平市中央公民館2階学習室4

第3回の内容

- 1 開会
- 2 意見交換をはじめるとあって
野口和雄（まちづくりプランナー）
- 3 意見交換・アンケート調査回答
- 4 本日のまとめ
- 5 閉会



意見交換をはじめるとあって

意見交換をはじめるとあって、まちづくりプランナー・野口和雄氏よりひとことアドバイスがありました。

〈アドバイスの概要〉

議論をすると様々な気づきがあります。今回はまちづくりカフェという事でお茶やお菓子等も準備されているので、より頭が活性化しているかもしれませんね。

ところで「良いと思うまち」と「悪いと思うまち」の違いはなんでしょう？
私は、おそらく「まちが生き生きとしているかどうか」、「まちに人が見えるかどうか」、「まちを愛している人がたくさんいるかどうか」の違いだと思っています。



例えば、昔はまちにはたくさんの煙草の吸殻が落ちていましたが、最近 10 年くらいはそういう光景は見ませんよね。これは、吸殻を拾ってくれる人がいるからだろうし、吸殻を捨てる行為をしている人が減っていることの裏返しでもあるということです。確かに、様々な形で啓発しているという理由もあるでしょうが、「私が吸殻を拾えば／吸殻を捨てなければ、まちはきれいになる」という一人ひとりの気づきが“共感”として広まったからだと思います。

そういう“共感”があふれるまちは、きっと良いまちになります。今回のカフェでは、そんな“共感”が広がるまちづくりのヒントについて考えてみてほしいと思います。是非、行政の方々に「あっ」と言わせるようなアイデアがでることを期待しています。

グループワークの概要

■早春グループ

生活拠点のあり方

- ・生活拠点のあり方を考えるにあたって、鉄道駅ごとのイメージを話し合いました。

小川駅周辺

- ・東側はブリヂストン、病院、福祉施設などがある。福祉は小平の看板である。
- ・西側は狭い道が多い。

小平駅周辺

- ・公共施設が集中しているが、「小平」を冠しているのに、名前負けしている。
- ・道路は広く、路地もあるが店は少ない。
- ・駐車場がない。

花小金井駅周辺

- ・歩いていけるとところに色んなものがある。
- ・魅力的なお店が多く、駅前も一番整備されている。うらやましい。

一橋学園駅周辺

- ・花小金井を少し地味にしたイメージ。
- ・自治会がしっかりしており、住んでいる人の満足度も高い。

鷹の台駅周辺

- ・高校、大学があり学生が多いが、学生街になっていない。
- ・学生が集える場所がない。広場や交流できる場などがあれば。

青梅街道駅

・新小平駅周辺

- ・市役所、JA、病院はあるが、他には何もないイメージ。

生活拠点を活性化するためのアイデア

(コミュニティを強化する)

- ・まずは「コミュニティを強化することが必要」という意見が出ました。
- ・それに対して「いろんな価値観があって自治会などの活動も難しくなっている」、「役員のなり手がなく、後継者をつくるために若者が参加できるような工夫が必要」などの意見が出ました。

(大学や企業を巻き込む)

- ・大学が多い利点を活かし、「地域で学生や大学を応援する取組ができないだろうか」、「市のイベントに参加した学生にボランティア料を支払うのも良い」といった意見が出ました。
- ・その他「地域の企業を巻き込んでいくことが大切」という意見も出ました。



■さくらグループ

小平のまちのあり方

- ・まちのあり方を考える上で「まちの将来像をしっかりと考えることは大事である」という意見がありました。そういう意味でも「今回のような“場”は非常に大事で意味がある」という意見も出ました。

- ・また、「まちづくりでは高齢者対応が手厚い反面、若者への視点が欠けている」といった指摘があり、「学生が就職しても小平に住みたくなるまちにしたい」、「子どもの頃からまち（地域）に関われる仕掛けが必要である」等の意見が出ました。



商店街の問題・課題と目指す方向性

- ・商店街については「若い人は対面販売をうっとおしいと感じる」、「スーパーの方が効率的に買い物できる」、「若い人のニーズに対応した形態で考えないといけない」といった問題点が指摘されました。
- ・それを受けて「まずは市民が憩える環境づくりが大事で、その結果、人が集まり、商店街（まち）も活性化していく」といった意見が出ました。
- ・また、「商店街に行こうと思わせる動機づくりがあれば」という意見や、それについて「商店主と一緒に考えたい」といった意見も出ました。

大学もまちに関わる

- ・大学が多いことが特徴のひとつという意見は以前から出ていました。しかし「大学の姿が見えない」、「もっとまちと交流して欲しい」といった意見が出ました。
- ・一方、「商店街を学生の活動のアピールの場に活用したらどうか」。そうすることで「学生がまちと関わりやすくなる」、「市民と大学との“縁”ができる」という意見が出ました。
- ・最終的には「市民がまちに関われる場所づくり」や「大学との連携」の重要性が確認されました。

■ひまわりグループ

小平市を特徴づける緑のあり方

- ・前回の議論も踏まえながら「玉川上水などのグリーンロードの一部で花が植わっているが、それをもっと増やし、市民が育てるようにしてはどうか」という意見が出ました。
- ・また、農地については「緑」の保護のために必要であるという前提で、「風で土埃が舞って、掃除が大変な人もいるようだ」などの問題も指摘されました。一方、「作物を作っていない農地が多い地区があるので、子どもが農地に触れる機会を増やしたり、市民農園として解放したりするのはどうか」という意見もありました。



学生との交流について

- ・小平市は大学が多いということから「地域（住民）と学生のパイプを太くする必要がある」、「グリーンロードで武蔵野美大の作品展示のようなイベントをより拡大してほしい」といった意見が出ました。
- ・その他、「学生起業の促進のため、空き店舗情報などをネットで発信すると良い」といった意見や、「学生のまちづくりへの参加や市民との交流を促すため、こういった場に学生の参加を呼びかけてはどうか」というアイデアも出ました。

■どん栗グループ

日常の居場所づくり

- ・福祉等に関連して「自治会が中心となって空き家などを使い、高齢者の居場所を作れないか」、「高齢者だけでなく様々な世代が利用し、子どもから高齢者まで一緒に遊べる場所が良い」といったアイデアが出ました。
- ・また、「大学と協力してアパートの空き室で多世代が交流できる居場所を作っているところがある。ただ持続的に運営していくためには相応の体制づくりが必要」といった情報提供がありました。



自治会の強化

- ・自治会については「コミュニティ強化のためには自治会が大切。加入者を増やすためにも自治会の良さ（メリット）を発信することが大切」、「市内の自治会同士、また高齢クラブなど他団体と情報交流をすることで、自治会の活動の活性化にもつながるのではないか」と意見も出ました。

公共交通

- ・「公共交通の利用を増やすにはコミュニティバスのワンコイン化が大切」といった意見が出ました。
- ・また、「家からバス停まで一気に歩くのが大変な高齢者も、道の途中にちょっとした休める場所があると、外に出よう、バスに乗ろうと思うのではないか」といったアイデアも出ました。

まとめ 「人のつながりが大切なので、FMラジオ局を小平に作るなど、いかに情報共有の手段を作るかも大切である」という話がありました。

終わりのひとこと（野口氏より）

みなさん、お疲れ様でした。今回、みなさんは「たった1か月」で、それも「たった3回」の話し合いをただけです。それにも関わらず、既にいろんな思いを共有しつつあるだけでなく、ちょっとしたコミュニティができつつあります。これは、「それだけまちづくりに対する意識の高い人が小平市にはいる」という証拠であり、この事こそが市にとっては一番の成果だと思います。

まちづくりカフェはこれで終わりではありません。まだ始まったばかりです。来年度以降、都市計画マスタープランを改定していく上で、もっといろんな意見を伺いたいと思っています。まだ進め方等は検討中ですが、来年度以降も是非、ご参加いただくようお願いします。

今後のまちづくりカフェ

市民アンケート調査にご回答いただいた方を対象として実施している「まちづくりカフェ」は、今後も都市計画マスタープランの内容の検討をするなかで、引き続き開催していく予定です。都市計画マスタープラン改定に向けた取組は始まったばかりです。今後とも、ご協力をお願いいたします。



《問合せ先》 小平市 都市開発部 まちづくり課 計画担当

電話 042-346-9554(直通) / FAX 042-346-9513(代表) / e-mail dh0012@city.kodaira.lg.jp

小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.lg.jp/index.html>

※グループワークでの話し合いによるご意見は、参加者の思いやお考えとして、そのまま掲載しております。